



平林博・元内閣外政審議室長
(元フランス大使)

朝日新聞が慰安婦問題の特集記事を掲載した8月の時点で謝罪しなかったのはおかしい。今になって謝罪したのは遅きに失した。記者会見で、「読者に対して謝罪したい」と言っていたが、被害者は日本国や日本国民だ。朝日新聞の誤った報道で韓国などとの関係が悪化し、国際的

被害者は日本国民だ

にもクマラスワミ報告に影響を与えた。今も日本の尊厳や利益が損なわれており、広く国際社会に対して自ら誤解を解くべきだ。朝日はもっと広い視野をもって対応してもらいたい。

さらに、慰安婦に広い意味での「強制性」があったと、依然として強調している。日本軍が組織的に強制連行したという記述はいくら政府が調べてもなかったのが事実だ。

朝日は、後者の点もきちんと強調するべきだ。第三者委員会には朝日の今後の言論の立ち位置も含めて抜本的に検証してもらいたい。

[読売新聞 2014年9月12日号 14面より転載]